

平成29年5月12日
経済農政局経済部産業支援課
電話 245-5274
内線 3021
公益財団法人千葉市産業振興財団
電話 201-9504

千葉市政担当記者 様

千葉市産業振興財団が支援する(株)バイオメディカル研究所は、タイでの Dengue 熱の簡易検査キットに関する実証事業を開始しました！～JICAから普及・実証事業を受託～

(株)バイオメディカル研究所(千葉市中央区、宮崎功社長)は、国際協力機構(JICA)の「中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～」を受託し、一回目のタイ国訪問を平成29年4月3日～7日に終了し、タイ国保健省疾病対策局他と共同して同国内の複数の病院にて実施する普及・実証事業を本格的に開始しましたので、お知らせします。

1 JICAの中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～について

途上国の課題の解決に貢献しうる中小企業の製品・技術の普及のために、中小企業から企画書を募り、優れた提案を出した中小企業とJICAで業務委託契約を締結し、一定規模の資機材調達・据付や継続的な現地活動等による実証活動を通じて、その普及方法を検討するもの。

2 受託概要

- (1) 事業名称 2016年度第1回中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～
Dengueウイルス感染症の流行阻止とその対策費用の削減に対する普及・実証事業(タイ国)
- (2) 受託者
 - ア 名称 株式会社バイオメディカル研究所
 - イ 代表者 宮崎 功(みやざき いさお)
 - ウ 所在地 〒260-0856 千葉市中央区亥鼻1-8-15 千葉大亥鼻イノベーションプラザ
(本社 〒245-0016 神奈川県横浜市泉区和泉中央南2-16-18)
 - エ 電話 043-301-3281
 - オ 会社概要 Dengueウイルスなどの熱帯性感染症の抗原/抗体検査や研究開発に高い実績があり世界に適用できる検査技術・診断技術を有し、診断用キットの普及や世界規模での技術提携や研究開発の受託を通じた社会貢献を目指している。
- (3) 予算規模 1億円以内
- (4) 実施場所 タイ国内で複数の病院を選択し、病院内での簡易検査実施、チュラロンコン大学医学部微生物講座、マヒドン大学医学部ラマティボディー病院、マヒドン大学熱帯医学部での検体の確定診断検査を実施する。
- (5) 相手国実施機関 タイ国保健省疾病対策局媒介感染症課 Bureau of Vector-Borne Diseases, Department of Disease Control, Ministry of Public Health
- (6) 実施期間 平成29年3月31日～平成31年6月28日(約2年3ヶ月間)
- (7) 内容 早期診断が可能な簡易検査キット「ラピデング(RapiDeng Ag)」を用いDengueウイルス感染症の感染拡大阻止に向けた普及・実証を行う事業。タイ国のDengueウイルス感染症の感染拡大を阻止し、延いては対策費用の削減を図ることで、タイ国の医療保健分野への貢献を目指す。



タイ保健省疾病対策局 (DDC)



JICA事業のタイでの第一回目現地訪問(平成29年4月3日～7日)(左から4人目がバイオM・宮崎社長)



DDC疾病対策局媒介感染症課にて打合せ(左から2人目がバイオM・宮崎社長,平成28年11月)



DDC感染症課にてデング熱検査キット測定の実演(右がバイオM・宮崎社長,平成28年11月)

3 背景・事業趣旨

タイ保健省はデングウイルス感染症を過去30年以上増加傾向にある公衆衛生上の主要な課題として位置付けている。タイ保健省が平成24年に策定した第11次国家保健医療開発計画に基づき、生物媒介疾病国家戦略(平成24年～28年)では、デングウイルス感染症について平成28年末までをターゲットに「過去5年間と比較し、罹患率を少なくとも4分の1減少させる」ことと「死亡率を0.12%以下に収める」ことが挙げられている。

タイ国ではデングウイルス感染症を含む感染症の発生動向報告システムは10年以上運用されている。しかし、安価・迅速な診断キットの普及が進まないことから、正確な発生状況が把握できず、的確な対策が迅速に立てられないことが問題となっている。また、不十分なデータに基づき蚊の駆除対策が行われているため、不必要な対策費がかかっており、公衆衛生対策費用を増大化させている。

そこで、(株)バイオメディカル研究所の、早期診断が可能な簡易検査キット「ラピデング(RapiDeng Ag)」の有効性実証実験をタイ国にて行い、JICAの普及・実証事業終了後には、同簡易検査キットの普及を通じて、タイ国内でのデングウイルス感染症の発生動向報告システムの完成と公衆衛生対策費用の削減への貢献を目指す。

4 受託までの経緯・千葉市産業振興財団との関わり

千葉市産業振興財団は、(株)バイオメディカル研究所が千葉大亥鼻イノベーションプラザに入居(平成23年1月)して以来、同社が独自開発したデングウイルス感染症に対する迅速簡易検査キットの事業展開に関し、支援機関として情報提供や補助事業への提案企画書の策定支援を行ってきた。今回の普及・実証事業に先立ち同社は、平成26年10月から1年間、国際

協力機構(JICA)の案件化調査事業にて、タイ国保健省疾病対策局媒介感染症課の協力を得てデング熱の発生状況や行政、医療機関の対応について調査を完了している。それに前後して、千葉市産業振興財団は、千葉大学との共同研究に関する「共同研究開発助成金」の交付、簡易測定キットの開発を目的とした平成26年度補正「ものづくり・商業・サービス革新補助金」採択のための支援、千葉市中小企業資金融資制度の活用のための支援など、ベンチャー企業育成に積極的に関わっている。今回の事例は、財団が市内中小企業と各支援機関を繋ぐハブとなり、海外進出を後押しするモデルケースとなる。

5 今後の展開予定

(1) スケジュール

平成28年11月 現地にて予備的協議開始(平成28年11月 現地訪問, 平成29年2月 タイ側同意書取得)

平成29年 4月 現地にて病院・大学の協力を得て簡易キットを使用した検査の為の準備開始(平成29年3月31日にJICA-バイオメディカル研究所契約を締結し、現地訪問/毎月1回1週間程度行う)

平成29年4月～ 現地にて5ヶ所の地域病院で普及・実証の為の活動を行う(1年間)

(2) 展望

平成30年4月から1年間かけて、1万キットをタイ国の病院で使用し、有効性や需要を確かめる。事業完了後は、タイ国で年間10万キットの販売を目指す。また、東南アジアでの普及に向け、製造コストの低減に取り組む。

<問い合わせ先>

公益財団法人千葉市産業振興財団 産業創造課

TEL 043-201-9504 FAX 043-201-9507

E-mail sangyosozo@chibashi-sangyo.or.jp

URL <http://www.chibashi-sangyo.or.jp/>

株式会社バイオメディカル研究所

TEL 043-301-3281 FAX 043-301-3287

E-mail i.miyazaki@bmri.co.jp

URL <http://bmri.co.jp/>